

## 東海支部 支部セミナー 「製造業におけるDX推進事例視察セミナー」開催報告

### Report on branch seminar “DX promotion case studies in the manufacturing industry” organized by Tokai branch, The Japan Institute of Light Metals

毛利 猛  
Takeshi MOHRI

東海支部では、2025年12月4日(木)14:00~16:00に、「製造業におけるDX推進事例視察セミナー」と題し、令和7年度支部セミナー(場所:株式会社テルミックりんくう常滑営業所)を、日本金属学会・日本鉄鋼協会東海支部、日本塑性加工学会東海支部の協賛のもと開催した。

製造業におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)は、生産性向上や品質改善、コスト削減を実現し、激化する市場競争のなかで持続的な競争優位性を確立するための不可欠な戦略的要素となっている。本セミナーでは、DXに積極的に取り組み、名古屋商工会議所の「NAGOYA DX・生産性向上アワード」および「サステナブルグロースカンパニーアワード2025 DXインパクト賞」を受賞された株式会社テルミックよりご講演いただくとともに、工場見学を実施した。

本セミナーには支部外および非会員の方々にもご参加いただき、参加者は合計23名(内訳:企業9名、研究所1名、大学13名)であった。

前半では、株式会社テルミック 代表取締役社長 田中 秀範氏より、「株式会社テルミックにおけるDXの取り組み」と題した講演が行われた(図1)。テルミックの経営理念である「ものづくりのエンターテイナー」として、製造業に携わるすべての人々を楽しく、常にワクワクさせる会社を目指すという考え方を基盤に、

- ・製造業に関わるすべての人が楽しく働ける会社を目指すこと
- ・異なる価値観やIT/DXを取り入れ、業務・働き方・サービスの質を高める革新を進めること
- ・顧客、協力会社、社員など関係者全体の満足度向上に努めること
- ・「紙ゼロ・ルーティンゼロ・残業ゼロ」の実践を通じ、新たな付加価値を創造すること

といった理念のもと、単なる部品加工企業にとどまらず、「ものづくりの楽しさと未来を創る存在」として事業を展開していることが説明された。

「紙ゼロ・ルーティンゼロ・残業ゼロ」を推進する過程においては、タブレット導入による紙資料の削減やRPA導入による省力化に加え、自動コンベアや搬送ロボットによる運搬作業の効率化、デジタルサイネージ活用による工程進捗の可

視化など、具体的なDX導入プロセスや現場での工夫、得られた成果について紹介された。講演は予定されていた30分を大幅に超え、約60分にわたる充実した内容となった。

後半では、DXを単なるIT導入にとどめず、現場改革として成功させている製造現場を実際に見学した(図2)。前半の講演で紹介されたデジタルサイネージは工場内の各所に設置され、部署ごとに最適化された情報が表示されていた。参加者は担当者の説明を受けながら理解を深め、DXがもたらす変化や効果を実感する機会となった。

最後に、本セミナーの開催にあたり、講演ならびに工場見学をお引き受けいただいた株式会社テルミックの皆様、ならびにご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後も多くの方々の積極的なご参加を期待したい。



図1 株式会社テルミック 代表取締役社長 田中 秀範氏による講演



図2 工場見学の一コマ